

# 知ってとくとく **野生イノシシ**の豚熱対策

## ○おねがい！！

- ① 関係者以外は畜産関連施設に近づかない
- ② 山の中、河川敷、道路など、野外にゴミを捨てない
- ③ 山林に出入りした後は、車両や靴底を洗浄消毒する

### ① 関係者以外は畜産関連施設に近づかない

豚熱は**ウイルス**による疾患で、病原体は目に見えません。畜産関連施設に近づいたり立ち入ったりすると、野生イノシシ等に由来する病原ウイルスを持ち込んでしまう恐れがあります。



### ② 山の中、河川敷、道路など、野外にゴミを捨てない

2018年に発生した豚熱のウイルスは、豚肉製品(精肉、ハムやソーセージのような加工品)などを介して海外から持ち込まれたと推測されます。野生イノシシが先に感染して飼養豚に広がったとみられ、野外に捨てられた**食品残渣**が感染経路となった疑いがあります。世界的に見ても、豚熱及びアフリカ豚熱の越境侵入は食品残渣を介した事例が多く、不適切なゴミの取扱いが深刻な事態を招く可能性があります。

- ・登山やハイキング、バーベキューで出たゴミは持ち帰る
- ・自動車から道路へゴミを投棄しない

残念ながら、山林沿いの道路脇にゴミが散乱している光景は、珍しいことではありません。市街地が途切れた区間は人目がないためか、自動車からのポイ捨てが横行するようです。

豚熱の問題以前に**とてもみっともないことなので**、ゴミの放置やポイ捨ては絶対にやめましょう。



山林沿いの道路脇に散乱するゴミ

### ③山林に出入りした後は、車両や靴底を洗浄消毒する

林業や建設業などに従事して山林で作業される方はもちろんですが、多くの方がレジャーで**山林に出入り**する機会があるでしょう。帰宅したら、車両(タイヤ回り)や靴底をアルコールスプレー等で消毒していただければ幸いです。



楽しいハイキングから…



帰宅したら靴底を消毒

### ○イノシシは案外すぐそばに棲んでいる

「イノシシがいる場所には立ち入らないから、自分には関係ない」とお考えのあなた。

# 甘いですよ！



イノシシは、私たちが考えている以上に私たちのそばに存在します。人間が至近距離に近づいても、見つからない限りは茂みの中などでじっとしてやり過ごすともいわれます。

- ・イノシシは元来、人里の環境を好む動物です。山の奥深くではなく、山のふもとで暮らしています。
- ・時には、河川敷などを辿って市街地に出没することもあります。
- ・愛知県内では山林はもとより、山のふもとに近い農地周辺、河川敷、公園などはすべからくイノシシの行動圏と考えて間違いありません。



誰もが、イノシシ行動圏から豚熱ウイルスを持ち出したり、ゴミなどを放置してイノシシの行動圏に豚熱ウイルスを持ち込んだりする可能性があります。



イノシシは…

日中は茂みなどに隠れて過ごし、



暗くなると、案外すぐそばまでやって来る。





山林に近い農地や集落は  
イノシシの行動域



公園の園路にも痕跡が…



掘り返しは典型的な痕跡

## ○豚熱とは

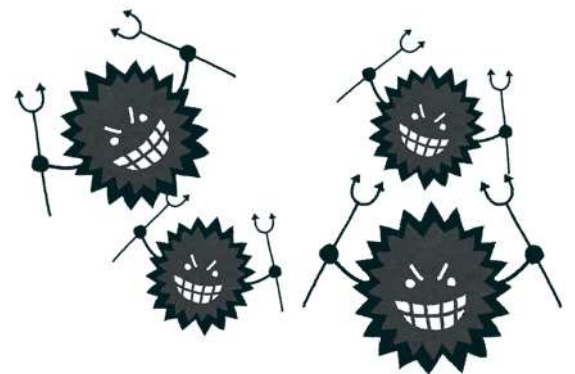
豚熱は飼養豚やイノシシが感染する病気で、家畜伝染病のひとつです。いったん発生すると、**発生農場の豚の処分、移動制限**等が求められ、**農家は経済的損失**を受けます。検疫強化や野生イノシシ対策などが必要になることもあり、**大きな社会的損失**をもたらします。

## 臨床上的特徴

- ・症状は、ウイルスの性状と量、動物の年齢や健康状態、他の病原体感染の有無によって大きく異なります。
- ・急性型は**発熱**と**けいれん**、**皮下出血**を起こし、数日で死亡します。
- ・慢性型には特徴的な症状はみられず、感染して1か月以上生存する個体もあります。その間、大量のウイルスを排泄して**感染源**となるため、症状は軽くともやっかいです。

## 豚熱ウイルス(CSFV)の特徴

- ・一本鎖RNAウイルスの一種です。
- ・冷凍肉では4年以上、冷蔵でも85日間活性を保ちます。血液中では68℃で30分加熱しないと不活化しないとの報告があります。



## 日本での豚熱発生と対策

- ・米国から導入した豚が感染源となり、1888年に北海道の農場で初めて発生しました。
- ・戦後は養豚業の隆盛とともに発生が常態化しましたが、1969年からのG P生ワクチン接種で急速に減少しました。
- ・2007年4月1日、120年間に及ぶ対策が実り、悲願であった清浄化を宣言しました。

# ところが！！

- ・2018年9月に26年ぶりに飼養豚で発生し、周辺の**野生イノシシの感染も確認**されました。その後、飼養豚、野生イノシシでの感染が拡大しました。
- ・2020年には清浄国ステイタスを喪失しました。

## ○野生イノシシの豚熱防疫対策について

2018年の豚熱発生後、**野生イノシシ**への感染が全国的に拡大したため、防疫対策が行われています。主な対策は以下の3つです。

- ① **感染状況の把握と情報共有**
- ② **経口ワクチンによる免疫付与**
- ③ **捕獲強化と物理的な移動防止**



野生イノシシ用の経口ワクチン  
(液体ワクチンの入ったカプセルがエサで包まれている)

### ① 感染状況の把握と情報共有

ウイルスの浸潤状況を監視するため、捕獲された個体及び死亡個体の**検査**を行っています。また、経口ワクチンの効果検証のために、抗体保有状況も調べています。

### ② 経口ワクチンによる免疫付与

野生イノシシに豚熱の免疫を付与するため、野外に餌でくるまれた液体ワクチンを野外に散布して食べさせる対策を行っています。1990年代から2000年代にかけて、E U 諸国が経口ワクチンで野生イノシシ清浄化を達成した実績があります。

### ③ 捕獲強化と物理的な移動防止

イノシシの生息密度の抑制と移動防止が感染拡大防止につながります。従来の農作物被害防止対策と合わせ、活動強化を図っています。

## ○参考資料・文献

- ・青木博史. 日本における豚コレラの撲滅達成と今後. 獣医疫学雑誌12. 2008
- ・European Commission/Health & consumers directorate - general. Guidelines on surveillance /monitoring, control and eradication of classical swine fever in wild boar. 2010
- ・熊谷哲夫. 豚コレラと口蹄疫のワクチン. J.Vet.Med.Sci.58. 1996
- ・仲谷淳, 宇仁茂彦. イノシシ -生態と感染症から見た安全な付き合い方-. 森林科学57. 2009
- ・農林水産省消費・安全局. C S F・A S Fをめぐる情勢と今後の対応. [https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/eisei/usibuta\\_sippe/60/attach/pdf/index-10.pdf](https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/eisei/usibuta_sippe/60/attach/pdf/index-10.pdf)(2023.6.2参照). 2020
- ・迫田義博. 豚熱(Classical Swine Fever : CSF)のすべて. 北獣会誌64. 2020
- ・澤井宏太郎ら. 日本のC S F発生に伴う被害額の推定. 獣医疫学雑誌24. 2020
- ・Sophie Rossi et al. Controlling of CSFV in European wild boar using oral vaccination: a review. Frontiers in Microbiology6. 2015
- ・山本健久. 豚と野生動物における豚コレラの疫学. 獣医疫学雑誌23. 2019
- ・Volker Moennig. The control of classical swine fever in wild boar. Frontiers in Microbiology 6. 2015

## ○お問い合わせ

愛知県農業水産局農政部 農業振興課 野生イノシシ対策室  
〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 052-954-6724 (ダイヤルイン)